

《GaN研究コンソーシアム 第3回研究会》
材料開発におけるインフォマティクスの応用

平成30年1月
GaN研究コンソーシアム事務局

GaN研究コンソーシアムは、産学官の各会員機関が組織の壁を越え共創するオープンイノベーションの場を構築し、我が国の持続的発展と各機関の成長に貢献することを理念としています。

第3回研究会では「インフォマティクス」をテーマに取り上げ、研究動向のご紹介、および議論の場を設けました。材料開発へのインフォマティクスの応用展開についての理解を深めるために、同分野の全体像のご紹介、新材料の探索を進めるマテリアルズ・インフォマティクス、プロセス開発への応用となるプロセス・インフォマティクスの事例、さらに材料開発における評価分析手法への適用について、それぞれ研究の最前線の方々からのご紹介をいただきます。

またパネルディスカッションにおいては、インフォマティクスをモノづくりにどうつなげるか、応用展開について議論いたします。

みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

◇開催日時

2018年 2月19日（月） 13:00～17:20

◇開催場所

名古屋大学 ES総合館 1階ES会議室

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/congre.html>)

◇講演プログラム

13:00～13:10	開催挨拶	天野 浩 (名古屋大学)
13:10～13:55	マテリアル・インフォマティクスとは ～その可能性～	富谷 茂隆 (ソニー株式会社)
13:55～14:40	マテリアルズ・インフォマティクス : MI2I における事例紹介	小山 幸典 (物質・材料研究機構)
コーヒープレイク (20分)		
15:00～15:45	SiC 結晶成長における機械学習の活用 (最適化からビジュアライゼーションまで)	宇治原 徹 (名古屋大学)
15:45～16:30	インフォマティクスを用いた結晶構造解析と 材料開発への応用	岩崎 悠真 (日本電気株式会社)
休 憩 (10分)		
16:40～17:20	《パネルディスカッション》 ～「インフォマティクス」をモノづくりにどうつなげるか～	講演者+武田浩一(名古屋大学) 【司会】白石 賢二(名古屋大学)

◇対象者 原則としてGaN研究コンソーシアムの会員である機関に所属する方

◇定員 70名

◇募集期間 2018年1月末まで

(応募者が上記定員に達した段階で募集を締め切ります)

◇参加費用 [GaN研究コンソーシアムの会員機関] 無料

[GaN研究コンソーシアムの会員でない機関] 1万円/人

(注:会員機関の参加を優先し、定員の範囲内で参加を認めます)

研究会終了後に懇親会を開催いたします。

ぜひ、こちらもご参加ください。

◆懇親会参加費；3000円

◆会場；研究会の会場隣り「シェ ジロー」<http://chezjiroud.jp/>

参加申し込み方法

下記事務局に、電子メールでご連絡ください。

申し込みの際は、

- ① 参加者氏名 ② 所属機関 ③ 職業(学生または役職) ④ 年齢 ⑤ 電話番号とメールアドレス
⑥ 懇親会への出欠

——の6点を明記してください。

場所・時間等の詳細は、参加登録後にメールでご連絡します。

個人情報をご本研究会の参加登録以外の目的で使用すること、及び第三者に提供することはありません。

【申込み・問い合わせ先】

GaN研究コンソーシアム/研究会事務局

E-MAIL: gan-con@aip.nagoya-u.ac.jp (電話 052-747-6584)

【事務局メンバー】

名古屋大学

研究協力部 社会連携課：菱川 佳織、加藤 史征

学術研究・産学連携推進本部 企画戦略グループ：

佐藤 浩哉、笹岡 千秋、水野紘一、山口 淳